

Y・A BOOKS



～ 今年度入った本の中から ～

No.40 (2025.3)

◆友だち関係で悩んだときに役立つ本を紹介します。(14歳の世渡り術)

金原ひとみ [ほか] / 著 河出書房新社 / 編 河出書房新社 2024.4 テコ J158 トモ 1112179120
心の中がモヤモヤしたとき。どうしたらいいかわからないとき。先輩たちに悩みを相談してみても？いろんな分野で活躍する先輩オススの本が、思いがけないヒントを示してくれるかもしれま

助けてくれる本がある!



◆わたしの名前はオクトーバー

わたしたちは、野生だ。

カチャ・ペーレン / 作 こだまともこ / 訳 評論社 2024.1 テコ J933 ヘル 1112148384
主人公は少女オクトーバー。父親と二人で森の中で暮らしています。ある時、思わぬ出来事が起こり「母親とかいうひと」とロンドンで暮らすことになりました。都会の生活のなか、新しい環境への全力の反抗が、人と関わることで揺れていく。オクトーバーの心が細やかにつぶれます。カーネギー賞(イギリスで出版された、最も優れた児童書に贈られる賞)受賞作です。

◆食べものから学ぶ現代社会 私たちを動かす資本主義のカラクリ (岩波ジュニア新書)

平賀緑 / 著 岩波書店 2024.1 テコ J332 ヒラ 1112145112

現代社会のグローバル化、巨大企業、金融化……ちよつと聞くと難しいことを「食べもの」を切り口として読み解いていきます。経済学の考え方と、今の世の中の現実。「なんだかずれているのでは？」という疑問に、「なるほど！」と思えるかも。

今の世の中、なんで??



◆オラレ!タコスクィーン (文研じゅべにーる YA)

思いのままを言葉にする。

ジェニファー・トーレス / 作 おおつかのりこ / 訳 文研出版 2024.6 テコ J933 トレ 1112196944

ステフは、メキシコ系移民の両親と一緒にアメリカで暮らしています。大切にされすぎてちよつと反発するけれど、家族は大の仲良し。親友に囲まれ、好きな美術に取り組みながら、いろいろなことをさわやかに乗り越えます。2つの国の文化を背景に成長する少女の物語です。メキシコの家料理がたくさん出てくるのも、楽しみ!!

◆スラムに水は流れない

勇気と知恵!!

ヴァルシヤ・バジャージ / 作 村上利佳 / 訳 あすなる書房 2024.4 テコ 933.7 ハシ 1112173734

インド第2の都市、ムンバイ。スラムでは、水を手に入れるために毎日行列に並びます。そこで暮らすミンニは勉強を続けたいけれど、家事に仕事に、家族の中で大きな責任を担っています。そんなある日、たいへんなことを目撃してしまう! 舞台はインドの今。厳しい状況に負けずに進んでいく少女の物語です。



◆縄文時代を解き明かす 考古学の新たな挑戦 (岩波ジュニア新書)

阿部芳郎 / 編著 岩波書店 2024.3 テコ J210 アヘ 1112175336

考古学者は、探偵のように推理する。

大昔の人たちは、どんなふうに住んでいたのか。遺跡に残されたものと向き合い、さまざまな分野の研究者たちが協力して、ひとつひとつの謎を解き明かしていくのです。植物学、動物学、人類学など第一線の研究者が、それぞれの専門分野から、考古学のおもしろさをやさしく解説してくれます。



◆アドニスの声が聞こえる

ありがとう。ほんとうに、ありがとう

フィル・アール/作 杉田七重/訳 小学館 2024.4 テコ J933 アル 1112172890
第二次世界大戦下のイギリス、ロンドン。父親が戦争に行ってしまった少年ジョーゼフは、動物園に取り残された年老いたゴリラ、アドニスと出会います。やがてジョーゼフとアドニスは心を通い合わせるのですが、戦火が激しくなり……。言葉をかわさずとも生まれた絆に、どんな結末が待っているのでしょうか。



◆ぼくの心は炎に焼かれる 植民地のふたりの少年 フェンスのむこうにさげんでも

ビヴァリー・ナイドゥー/作 野沢佳織/訳 徳間書店 2024.3 テコ 933.7 ナイ 1112166506

1950年代、イギリスの植民地だったころの、ケニア。農場領主の息子で白人の少年マシューと、その家に雇われている黒人少年のムゴは、兄弟のように育っていました。やがて、白人から土地を奪い返そうとするキクユ族の武装集団が彼らの農場にも迫ってきて……。社会の大きな変化の中で、人々との関係がどうなっていくのか。マシューとムゴそれぞれの視点から語られます。



◆ライフライン：ネット・電力・水”見えないシステム”から知る世界のなりたち

(14歳の世渡り術プラス)

ダン・ノット/著 桃井緑美子/訳 河出書房新社 2024.2 テコ J540 ノツ 1112159771

当たり前にある。いつも使える。それは、見えないけれど、きちんとした仕組みがあるから。その始まりから、なくてはならないものになった現在までの道のりを、イラストで解説してくれます。

この世界を動かす3つのシステム



愛知県図書館「漫画で愛知コーナー」から

「愛知県ゆかりの漫画家が愛知県をテーマとしている作品」を集めました。
その中から一部を御紹介します。

●『だもんで豊橋が好きって言っとるじゃん!』(佐野妙/著 竹書房) ま 726.1 サ/
県外から豊橋の高校に転入した主人公が、豊橋や東三河の文化に触れていきます。方言のセリフをはじめご当地エピソード満載。ストーリーの中で、楽しみながら豊橋や東三河を知ることが出来る作品です。

●『八十亀ちゃんかんさつにつき』(安藤 正基/著 一迅社) ま 726.1 ア/
東京育ちの高校生が転校した先の名古屋で出会った、名古屋弁を操る女子高生「八十亀最中(やとがめもなか)」をとおして、名古屋の文化に触れていきます。作者の名古屋愛あふれる作品です。

ぜひ愛知県図書館で読んでみてね。

